

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 10211119  
PUBLICATION DATE : 11-08-98

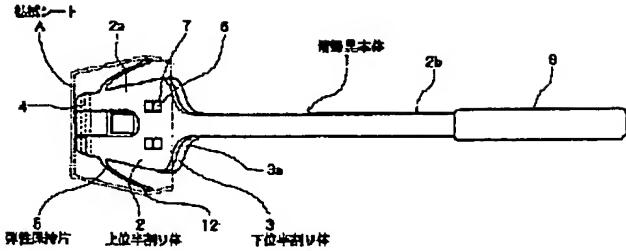
APPLICATION DATE : 29-01-97  
APPLICATION NUMBER : 09015425

APPLICANT : KOBAYASHI PHARMACEUT CO LTD;

INVENTOR : YAMASHITA MOTOKO;

INT.CL. : A47K 11/10 A47L 13/46

TITLE : CLEANING TOOL FOR TOILET STOOL



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To facilitate post processing by cover-mounting a bag-like wiping sheet by a single operation and break-covering the wiping sheet by the opening operation of two half-divided bodies for removing a dirty wiping sheet.

SOLUTION: In this cleaning tool for a toilet stool, etc., the two half-divided bodies 2 and 3 with head parts 2a, 3a and a handle 2b constitute a cleaning tool main body 1, the tips of the two head parts are combined by an axis 4 in the state of being freely openable and closable, and an elastic holding piece 5 to be restrained to the inner side of the bag opening part of the bag-like wiping sheet A to be fitted to the head parts 2a and 3a is projectingly provided on both sides of the head parts. It is desirable that this elastic holding piece 5 consists of an elastic thin plate and so that its base tip is fix-provided the side face of the head parts of one half-divided body in the neighborhood of the axis to be inclined and overhung back-outward.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-211119

(43)公開日 平成10年(1998)8月11日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

A 47 K 11/10

A 47 K 11/10

A 47 L 13/46

A 47 L 13/46

審査請求 未請求 請求項の数4 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平9-15425

(71)出願人 000186588

(22)出願日 平成9年(1997)1月29日

小林製薬株式会社

大阪府大阪市中央区道修町4丁目3番6号

(72)発明者 山下 素子

大阪府大阪市淀川区三津屋南3丁目13番35

号 小林製薬株式会社大阪工場内

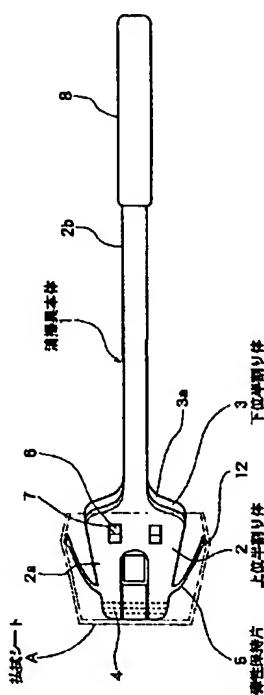
(74)代理人 弁理士 角田 嘉宏 (外1名)

(54)【発明の名称】 便器等の清掃具

(57)【要約】

【課題】袋状払拭シートの被装をワンタッチ式にし、汚れた払拭シートの除去には、2つの半割り体の開く操作で払拭シートを破砕して行い、後処理を容易にする。

【解決手段】ヘッド部2a, 3aと柄2b, 3bを有する2つの半割り体2, 3で清掃具本体1を構成し、2つのヘッド部先端を枢軸4により開閉自在に結合し、ヘッド部両側に、ヘッド部に被着される袋状払拭シートAの袋口部内側に係止される弾性保持片5を突設する。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】ヘッド部後方に柄を延設した清掃具本体を上位半割り体と下位半割り体に二分割構成にし、両方の半割り体をそのヘッド部先端で枢軸により開閉自在に結合し、ヘッド部両側に、ヘッド部に被着される袋状払拭シートを係止保持する弹性保持片を突設したことを特徴とする便器等の清掃具。

【請求項2】弹性保持片を弹性薄板で形成し、その基端を枢軸近傍で一方の半割り体のヘッド部側面に固設し、後方外向けに傾斜して張出状にしたことを特徴とする請求項1記載の便器等の清掃具。

【請求項3】弹性保持片の基端を枢軸両端に固設したことを特徴とする請求項1記載の便器等の清掃具。

【請求項4】弹性保持片の先端部に、袋状払拭シートの袋口部内面に圧接係止される係止手段を設けたことを特徴とする請求項1、2または3記載の便器等の清掃具。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は主に便所内の便器の清掃に使用される便器等の清掃具、更に詳しくは、着脱式の袋状払拭シートを用いて便器等の被清掃面の汚れを払拭する便器等の清掃具に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来より、便器等の清掃具として、ヘッド部の後方に柄を延設し、ヘッド部の上面部に形成した凹部に対し、開閉動自在に挟持ヘッド部を軸支し、この挟持ヘッド部に操作杆を延設してなる清掃具本体と袋状払拭シートとを組合せ、挟持ヘッド部を開き位置にしてヘッド部を袋状払拭シート内に挿入してから挟持ヘッド部を閉じると、払拭シートの袋口部がヘッド部の凹部内に入り込んだ状態で挟持されて安定し、便器等の被清掃面の汚れをヘッド部下面部の払拭シートで払拭するようにした清掃具が提案されている。(先行技術としては、例えば、実開平3-27696号公報参照。)

この種の清掃具では、使用に際してヘッド部上に袋状払拭シートを被せて用いるので、ヘッド部下面部の払拭シートを便器等の被清掃面に強めに当てることができて汚れを払拭するのに便利なものである。

【0003】ところが、上記するような構成の清掃具では、ヘッド部を袋状払拭シート内に挿入して使用し、使用後にこの汚れた払拭シートをヘッド部から除去するには、清掃具を搖って汚れた払拭シートをヘッド部から振り落として脱離させるため、汚れた払拭シートをそのまま振り落とすとなると、払拭シートに付着した固体汚物や汚水が飛散させて周辺を汚すようなことが起こる。また、清掃具を搖っている間に汚れた払拭シートはどこに落ちるか判らず、汚れた払拭シートの後処理をし難くし、清掃具を搖って汚れた払拭シートを振り落とす動作にしても巧拙があり、清掃具の取扱いに不便がある。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明は、ヘッド部と柄を一体とする清掃具本体を上下に二分割構成にし、使用時には、両方の半割り体を閉合状態にしてそのヘッド部に袋状払拭シートを被着して用い、使用後には、両方の半割り体を開動させて汚れた払拭シートを破砕してヘッド部から除去するようにした取扱いに便利な便器等の清掃具を提供することを目的としたものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するための本願発明の請求項1記載の発明は、ヘッド部後方に柄を延設した清掃具本体を上位半割り体と下位半割り体に二分割構成にし、両方の半割り体をそのヘッド部先端で枢軸により開閉自在に結合し、ヘッド部両側に、ヘッド部に被着される袋状払拭シートを係止保持する弹性保持片を突設したことを特徴とする。

【0006】ここで、ヘッド部とその後方に延設した柄は一体にプラスチック資材などで一体成型し、側面視においてヘッド部を水平にした状態で柄は適当な角度に傾斜して設けられる。また、清掃具本体を上位半割り体と下位半割り体に二分割する上で、ヘッド部と柄はともに適当な厚みがあって側面視において略中央に分割重合線を位置させ、強度的に両方の半割り体は略同等のものとし、さらに、ヘッド部の形態としては、横方向への拡がりを有し、平面視においてヘッド部の両側面を先細テーパ状にするのが好ましい。

【0007】このように構成することにより、ヘッド部に対して袋状払拭シートを被着して弹性張出片が払拭シート内に入り、弹性保持片の先端が袋口部の内側に圧接状に係止されて突っ張り、下位半割り体下面に払拭シートがぴったり添接して安定するので、この払拭シートで被清掃面が払拭できるものである。

【0008】そして、汚れた払拭シートを除去するのに、両方の半割り体を、その柄部を持って開動させると、ヘッド部の開動で払拭シートは、弹性保持片の先端が袋口部の内側に係止したまま袋口部が大きく開かれることにより払拭シートが破砕してヘッド部から落下するようになる。このように、袋状払拭シート内にヘッド部を挿入するだけで直ぐに使用でき、しかも、使用後の汚れた払拭シートを簡単な操作で破砕して所定の場所の確実に落として除去して便利なものである。

【0009】また、上記する弹性保持片は、ヘッド部に袋状払拭シートを被着した状態で、弹性保持片先端が袋口部の内側に圧接状に弾力的に係止されて払拭シートを偏平状に保持し、使用中に払拭シートが後ずさりを起こすようなこともなくヘッド部上に安定させるものであれば、特に構造的な限定はないが、払拭シート内へのヘッド部を挿入を易くするために、請求項2記載の発明のように、弹性保持片を弹性薄板で形成し、その基端を枢軸近傍で一方の半割り体のヘッド部側面に固設し、後方外

向けに傾斜して張出状にするのが好ましい。このように構成すると、払拭シート内にヘッド部を挿入する時に、払拭シートの袋口部の両端部が弹性保持片上を滑動し、弹性張出片は漸進的に弾力を強めながら払拭シート内に入り、弹性保持片先端部が袋口部を通り過ぎて最終的には、弹性保持片先端が袋口部の内側に入り込んで圧接状態に係止されるようになる。

【0010】また、清掃具としては、その部品点数を減らして簡素な構成が好まれることから、弹性保持片を、これが固設される半割り体と一体成型することも可能であるが、請求項3記載の発明のように、弹性保持片の基端を枢軸両端に固設すると、枢軸と弹性保持片を一体成型することが可能になり、構成部品として小部品に当たる枢軸および弹性保持片の取扱いを便利にし、部品点数を減らすことができる。また、清掃具本体、すなわち、上位半割り体および下位半割り体に対して着脱自在に組付ける構成にして分解掃除などにも便利にできる。

【0011】また、上記するように、弹性保持片先端は、弾力的に袋口部の内側に圧接状態に係止されて払拭シートを偏平状に保持し、使用中に払拭シートが後ずさりを起こすことがないように機能するが、この弹性保持片先端には、請求項4記載の発明のように、袋状払拭シートの袋口部内面に圧接係止される係止手段を設けるのが好ましい。このように構成すると、使用後に汚れた払拭シートを除去するのに、両方の半割り体を開動させる時に、この開動力が弹性保持片先端に集中して払拭シートの係止位置に食い込んでこから払拭シートの破壊が始まつて払拭シートの除去が簡単になる。

【0012】なお、ヘッド部に被着して使用される袋状払拭シートとしては、使用後に破壊して除去されるので、材質的には、使い捨てしても経済的負担の少ない紙製のものが好適する。

### 【0013】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態の一例を、図面に基づいて説明する。

【0014】図面において、図1は清掃具の平面図、図2は清掃具の一部を断面で示す側面図、図3は清掃具本体の要部の斜視図、図4は図2に対応する清掃具本体の開かれた状態を示す側面図、図5は他の実施の形態における枢軸部の斜視図である。

【0015】図において、まず、清掃具本体1について説明する。

【0016】清掃具本体1は、二分割構成した上位半割り体2と下位半割り体3とからなる。両方の半割り体2、3はともに、ヘッド部2a、3aの後方に柄2b、3bを延設したもので、両方のヘッド部2a、3a先端で枢軸4により開閉自在に結合している。そして、上位半割り体2の両側面に、ヘッド部2a、3aに被着される袋状払拭シートAを係止保持する弹性保持片5を突設している。

【0017】前記上位半割り体2と下位半割り体3はプラスチック資材などで一体成型され、側面視においてヘッド部2a、3aを水平にした状態で柄2b、3bは適当な角度、例えば、20～30度程度で上向きに傾斜している。また、ヘッド部2a、3aと柄2b、3bはともに適当な厚みがあって側面視において略中央に分割重合線を位置させ、強度的に両方の半割り体2、3は略同等のものとし、また、両方のヘッド部2a、3aは平面視において横方向への拡がりを有し、ヘッド部2a、3aの両側面を先細テーパ状に形成している。

【0018】また、上位半割り体2のヘッド部2aには水抜き孔6を穿設する他、ヘッド部2a上面に、袋状払拭シートAをすれ難くするための突起7等が設けられ、他方、下位半割り体3の下面8は、下方に向けて丸味を付けて膨らみ形態にし、袋状払拭シートAが広い面積で添接して被清掃面を払拭し易くしている。

【0019】また、両方の半割り体2、3の柄2b、3bについては、閉合面側から中抜き形態を探るなどして軽量化が図られ、両方の柄2b、3bの後端部に、着脱自在に管状をなす握り部材9が取着されている。また、この握り部材8を両方の柄2b、3bに取着するためには、柄3bの後端に板状の延長部3cを設けるとともに係止部10を設け、両方の柄2b、3bを閉合状態にしてその後端部を握り部材9に挿入した状態で、延長部3cの弾力を効かせてその係止部10を握り部材9に設けた係止孔11に係脱するようにしている。

【0020】前記する弹性保持片5は、その基端を枢軸4近傍で上位半割り体2のヘッド部2a側面に固設し、後方外向けに傾斜して張出状に形成し、その先端部外面に、袋状払拭シートAの袋口部A'内面に圧接係止される係止手段12を設けている。なお、この弹性保持片5は、上位半割り体2と別体構成にして適宜の止具を使用して上位半割り体2の両側面部に取着することも可能であるが、実施の形態では上位半割り体2と一体に形成している。また、係止手段12としては、実施の形態のものは、角付きで外向きに傾斜する段部に形成している。

【0021】また、弹性保持片5は、ヘッド部2a、3aに袋状払拭シートAを被着した状態で、その先端が袋口部A'の内側に圧接状態に弾力的に係止されて払拭シートAを偏平状に保持するものであればよいので、図5に示す実施の形態のものは、枢軸4の両端部に弹性保持片5の基端を固設しており、両者を一体成型している。この場合、一方の半割り体に対しては枢軸4を不回動にし、他方の半割り体に対しては回動自在に結合されるので、実施の形態のものを適用するには、上位半割り体2のヘッド部2aとの結合には、枢軸4の両端部4aを角付き等にしてこの部分を不回動部に嵌着する構成にし、下位半割り体3のヘッド部3aとの結合には、ヘッド部3a側の結合部をフック状に形成して枢軸4に対して係止状に開閉自在に結合し、通常の使用時において開閉さ

れる回動範囲を超えて両方の半割り体2, 3が開かれるとき、枢軸4からフック状結合部が外されて両方の半割り体2, 3が分離でき、しかも、枢軸4および弾性保持片5も一体にヘッド部2aから分離できるようにするものである。このように構成すると、主要構成部品全体が分解できて使用後の清掃に便利になる。

【0022】なお、ヘッド部2a, 3aに被着される袋状払拭シートAとしては、ヘッド部2a, 3aが緩く挿入できる大きさで紙製のものが使用される。

【0023】次に、上記のように構成された清掃具の使用方法について説明する。

【0024】まず、両方の半割り体2, 3を閉合状態にして柄2b, 3bの後端部には、握り部材7を取り付ける。

【0025】この状態で、袋状払拭シートAの中にヘッド部2a, 3aを挿入すると、払拭シートA内にヘッド部2a, 3aが入り込む過程で弾性保持片5が押されて漸進的に弾力を強めながら払拭シートA内に入り、最終的に弾性保持片5先端、つまり、係止手段12が袋口部の内側に入り込んで圧接状態に係止される。

【0026】こうして払拭シートAは、下位半割り体3の下面8にぴったり添接するようになり、この払拭シートA面を使用して便器等の被清掃面が円滑に払拭できる。また、一定期間を使用して払拭シートAが汚れるとき、握り部材7を外し、両方の半割り体2, 3を開くように操作すると、払拭シートAの袋口部A'が無理やり大きく開かれるようになり、この時の開動力が弾性保持片5先端および係止手段12のところに集中して払拭シートAの係止位置に食い込み、ここからも払拭シートAが破壊されるようになってヘッド部2a, 3aからそのまま落下して除去される。

【0027】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、本発明によれば、清掃具本体を構成する2つの半割り体を閉合状態で使用し、そのヘッド部を袋状払拭シートに挿入するだけで、清掃具本体に対する払拭シート

トの被着ができ、そのまま使用できるから、清掃具に対する払拭シートの被着がワッタリにできて作業性を向上する。また、汚れた払拭シートの除去には、閉合状態にある2つの半割り体を開くように操作するだけで、袋状払拭シートが破壊してそのまま落下するから、汚れた払拭シートの除去に当たって払拭シートに付着する汚物が飛散して付近を汚すようなことがなく、予定する場所に確実に汚れた払拭シートを落とすことができてその後処理が容易になる。

【図面の簡単な説明】

【図1】清掃具の平面図である。

【図2】清掃具の一部を断面で示す側面図である。

【図3】清掃具本体の要部の斜視図である。

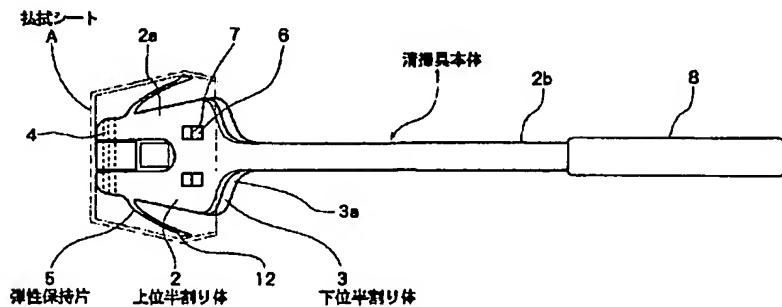
【図4】図2に対応する清掃具本体の開かれた状態を示す側面図である。

【図5】他の実施の形態における枢軸部の斜視図である。

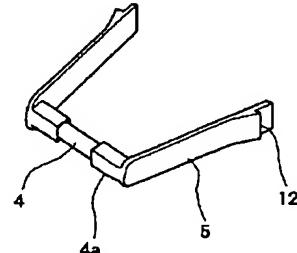
【符号の説明】

- 1…清掃具本体
- 2…上位半割り体
- 2a…ヘッド部
- 2b…柄
- 3…下位半割り体
- 3a…ヘッド部
- 3b…柄
- 3c…延長部
- 4…枢軸
- 5…弾性保持片
- 6…水抜き孔
- 7…突起
- 8…下位半割り体下面
- 9…握り部材
- 10…係止部
- 11…係止孔
- 12…係止手段
- A…袋状払拭シート
- A'…袋口部

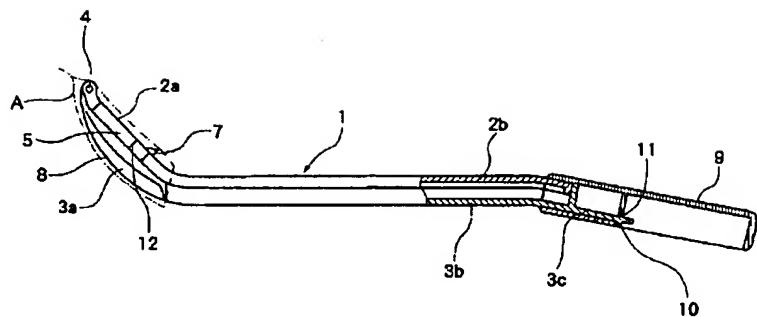
【図1】



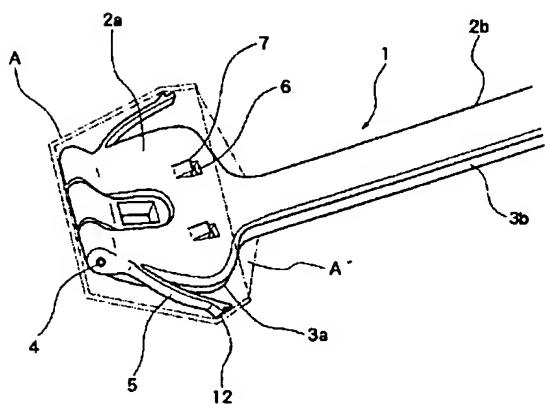
【図5】



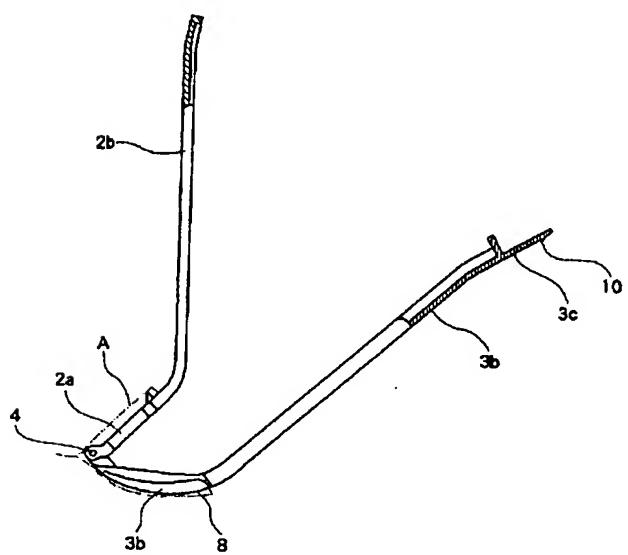
【図2】



【図3】



【図4】



BEST AVAILABLE COPY